

研究課題名

鼠径部ヘルニア術後メッシュ感染に関する全国多施設共同後ろ向き研究

研究の目的

鼠径部ヘルニア手術では、再発防止のためメッシュを用いることが標準的ですが、稀に術後に「メッシュ感染」が起こります。本研究は、全国の複数の施設から症例を収集し、発症頻度やリスク因子、治療法とその予後を明らかにすることを目的としています。

研究の方法

2015 年 1 月 1 日～2025 年 6 月 30 日の間に、近畿大学奈良病院および共同研究施設で鼠径部ヘルニア手術をメッシュで行った方、または、術後にメッシュ感染の診断や治療を受けた方を対象とします。使用するのは診療録など既存の医療記録のみで、新たな検査や治療は行いません。

研究期間

研究機関の長による実施許可日～2026 年 12 月 31 日までの予定です。

利益・不利益

直接的な利益はありませんが、今後の治療方針の改善に寄与する可能性があります。
新たな侵襲や負担はなく、不利益はありません。

個人情報の取扱い

氏名等の個人情報は使用せず、匿名化されたデータを用います。
学会や論文で成果を発表する際も、個人が特定されることはありません。

資金・利益相反

本研究は日本ヘルニア学会の研究費および近畿大学奈良病院消化器外科の講座費により実施され、研究者に不当な利益はありません。

研究に関する情報公開

本研究は、近畿大学奈良病院のホームページおよび日本ヘルニア学会のホームページで公開します。
研究対象者の方や代理人の方が「自分の情報を使わないでほしい」と希望される場合は、研究対象から除外しますので申し出ください。その場合でも診療に不利益は一切ありません。

連絡先（研究責任者）

近畿大学奈良病院 消化器外科 医学部講師
額原 敦
〒630-0293 奈良県生駒市乙田町 1248-14
TEL7 : 0743-77-0880

浜松医科大学 一般（内視鏡）外科

佐藤 正範

〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号

TEL: 053-435-2276

E-mail: msnrsato@hama-med.ac.jp